

校舎入口に設置された手の消毒と咳エチケットを呼び掛けるポスター。

企画・編集 澁谷 健司

3月に入りました。新型コロナウイルスの感染者が日本でも報告されているので、来日したばかりの実習生の皆さんも、それぞれに不安を抱えているのですが、過剰に反応することもなく、大変冷静な態度で生活しています。また、マスクの着用や手洗い等自分達で出来る自己防衛策にしっかりと取り組む姿から、技能実習生として来日している皆さんの、目的意識の高さが伝わってきます。

当校スタッフとしても、まだ先が見えない不安はありますが、必要以上に不安を掻き立てることなく、ウイルスに対する正しい知識と、感染予防策の周知を徹底し、実習生の皆さんと一致団結して、新型コロナウイルスの感染予防に取り組んでいるところです。

## あじけんスコープ Vol.83

～新型コロナウイルス感染予防への取り組み～

当校では、今、世界中で猛威を振るいつつある新型コロナウイルスの感染拡大から実習生の皆さんを守るために、できる限りのことをすべく、全力で取り組んでいます。その1つが、来日後に行っている生活指導(母語で対応)での感染予防指導です。ここでは、これまでよりも時間をかけて、実習生の皆さんに新型コロナウイルスについて、正しい知識を身に付けてもらう為の指導を行っています。

また、感染予防策として以下の6つの約束も呼び掛けています。

- ① 校舎に入る時は、必ず手の消毒をする。
- ② 寮に戻った時や食事の前は、必ず石鹸で手を洗う。
- ③ 咳が出る時はマスクを着用する。
- ④ 教室、寮の部屋ともに定期的に窓を開けるなどして換気に努める。
- ⑤ 免疫力を高めるために、栄養・睡眠・休養をしっかりとる。
- ⑥ 朝、体がだるい、熱がありそうだと感じたら、無理に登校しないで、寮で待機する。

また、教室では、従来から行っている健康チェックに加えて、担当講師による全員検温を実施し、体調の優れない実習生、発熱の症状がある実習生の早期発見にも取り組んでいます。



校舎入口で入念に手を消毒する実習生



講師による朝の全員検温

## 今月の実習生



今月の実習生は、毎日、母国から持ってきたマスクを付けて登校し、ウイルス対策万全の実習生、馮磊(ヒョウライ)さんを紹介します。

このマスクは中国から持って来ました。名前はN95です。作用は粒子のろ過率が95%以上です。私の妻は薬局で働いています。日本に来る前に私にくれました。病原菌を阻止するのに大きな役割を果たし、

# あじけん流日本語授業

～清掃活動を活用した5Sと「報・連・相」指導の推進～



教室の壁に整頓された掃除道具

今月は、毎日8時間目（その日の最終授業）に行われている清掃指導の様子をご紹介します。

当校では、清掃活動を、「1日の終わりに自分たちが使った場所をきれいにする」という学校や職場で一般的に考えられている目的に加えて、日本での技能実習に欠かせない①日本語コミュニケーション能力 ②「職場の5S」への意識 ③「職場のホウレンソウ（報・連・相）」への意識の3つを高めることが出来る活動として、毎日の授業の中に位置付けています。

授業では、先ずウォーミングアップ活動として、「清掃道具語彙」（15語）の絵カードを用いた口頭ドリル練習を行います。ここでは、基本語彙の意味用法と正しい発音の定着が図られます。

次にその日の清掃分担と、清掃道具の確認が行われます。ここでは、講師との実践的なコミュニケーションを通して、指示に対する応対や数を数える練習が行われます。

最後に、実際の清掃活動に入るのですが、ここでは5Sの中の清掃だけでなく、整理・整頓・躰、また「報・連・相」の理解と習慣化を図るために、①不必要と判断した物は、先生に相談して廃棄する（相談・整理）②使った道具は必ず元の場所に戻す（整頓・躰）③掃除が終わったら担当の先生に報告してチェックを受ける（報告）の3つを徹底して指導します。清掃指導は毎日行われるので、まさに「習うより慣れろ」。実習生の皆さんも、最初は、日本語もなかなか理解できず、戸惑いを隠せないのですが、日本語講習が終わるころには大半の学習者が5Sと報連相を意識して、清掃活動に取り組むことが出来るようになります。



フラッシュカードを用いた語彙指導



先生から掃除道具をもらう実習生



使ったぞうきんを元に戻して、枚数を確認する実習生



教室掃除終了を報告する実習生達

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧に